

令和元年度 幼稚園等初任者研修（公立第2回 私立第3回）報告

5月31日（金）磐田市立豊田南こども園で、6月4日（火）は函南町立みのり幼稚園で、初任者研修会が行われました。本研修会には、県内の公私立幼稚園・認定こども園の初任者が参加しました。

今回は、会場のこども園、幼稚園の御協力のもと、保育参観をさせていただきました。また、静岡大学の田宮縁先生からは、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と乳幼児を取り巻く環境」をテーマに御講演をいただきました。

さらに、グループ別協議では「保育参観や講演から学んだこと」「自己研修テーマに迫るための具体的な手立て」について意見交換を行いました。



【保育参観】

～土や砂、水と関わり遊びを広げ深める園児～ 静西 磐田市立豊田南こども園



～友達や先生と体を動かし遊ぶことを楽しむ園児～ 静東 函南町立みのり幼稚園



研修員の言葉から

- ・ 実際の保育の場を参観することで保育者の声掛けや遊びの環境構成、ふれあい遊びの進め方などの具体を学ぶことができました。
- ・ 魅力的な教材や適切な環境設定等、遊びたくなるような教師の工夫があつて、勉強になりました。
- ・ 自分の園との違いや、保育者の声掛け、援助の仕方を客観的に見ることができました。明日の保育に生かしていきたいと思いました。
- ・ 子どもたちのよさを見つけ、遊びを発展できるような声掛けをしていました。私も心掛けていきたいと思いました。

「田宮先生による講演」

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と乳幼児を取り巻く環境」をテーマに、研修員へのインタビューを交えながら、「幼児教育の基本」「本日の参観で印象に残った環境構成やエピソード」「保育者として身につけてほしい感性と知識」「現代的課題への対応」などの話を伺いました。

研修員の言葉から

- ・ 物的環境も大切だが、環境を構成する保育者が、人的環境として関わっていくかが何より重要であるというお話が、心に残りました。自分自身を振り返る機会となりました。
- ・ 自己決定について、改めて重要なポイントだと確認できました。質の高い保育に少しでも近づけるよう、今一度、自分の役割を見直していきます。
- ・ 必要とされる保育者の資質や環境の大切さについて教えていただき、これからの未来をつくる子どもたちを育成していくという自覚をもちました。



【グループワーク】

研修員の言葉から



- ・ グループで話し合うことを通して、自分と異なった視点の捉えを知ることができ、参考となりました。
- ・ 保育参観では気づくことができなかった子どものよい姿を出し合い、さらに、その要因についても話し合うことができました。
- ・ それぞれの初任者が、どのように自分のクラスを捉えていて、課題に対してどのように取り組んでいくかが分かりよかったです。
- ・ 1年後の子どもの姿を考えてということでしたが、日々の保育に追われ、先を見据えて考えることをしていなかったと感じました。
- ・ 同じような悩みを抱えている人がいて、話し合うことで解決の手立てを見つけることができました。

今回の研修会を通して

研修員の言葉から

- ・ 他園の保育の様子を参観するのは初めてでした。自分の保育に取り入れたいことがたくさん見つかりました。また、二ヶ月の保育を省みることもできました。今回決めた手立てをもとに明日からの保育をがんばります。
- ・ 園の先生方の子どもの目線に立ち、ともに遊び込む姿を見て、「楽しく遊ぶ」とはどのようなことであるか知ることができました。明日からの自分の保育で、「楽しく遊ぶ」を大切にしながら子どもが好きな遊びを見つけ発展できるよう心がけていきたいです。
- ・ 今回の研修で、保育参観が自分の大きな学びとなりました。自園と比較し、目標や環境、子どもの姿の違いを知ることができました。泥遊びに没頭している子どもの姿を見て、私も夢中になり、ずっと遊ばずにはいられないような環境を作っていきたいと思いました。